



2008年8月期
決算説明会資料

株式会社 **ビックカメラ**
(東証一部：3048)

1. 2008年8月期 決算概要
2. 2009年8月期 業績見通し
3. 「都市型モデル」の新たな成長
4. 参考資料

ビックカメラ

1. 2008年8月期 決算概要

〔連結〕2008年8月期 決算ハイライト



売上高 前期比二桁増収も
売上・利益共に計画比未達

(単位 百万円)

	2007年8月期		2008年8月期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画比
売上高	542,294	-	604,804	-	+11.5%	610,000	▲0.9%
売上総利益	130,742	24.1%	145,131	24.0%	+11.0%	-	-
販売費及び一般管理費	114,739	21.1%	129,634	21.4%	+13.0%	-	-
営業利益	16,002	3.0%	15,496	2.6%	▲3.2%	17,700	▲12.5%
経常利益	17,448	3.2%	16,164	2.7%	▲7.4%	18,200	▲11.2%
当期純利益	8,146	1.5%	4,112	0.7%	▲49.5%	12,000	▲65.7%

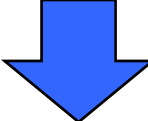
※売上総利益、販売費及び一般管理費の計画数値は発表しておりません。

〔連結〕2008年8月期 総括①

ビックカメラ

売上高 6,048億円 (前期比+625億円、計画比▲52億円)

- ビックカメラ既存店の堅調な推移 + 新店の寄与
- ソフマップの新店寄与 (秋葉原本館、ビックカメラへのインショップ展開)

 前期比大幅増収

北京オリンピック需要が盛り上がり欠け
前期比+11.5%、計画比▲0.9%

営業利益 154億円 (前期比▲5億円、計画比▲22億円)

- ビックカメラの増収効果 + 粗利益率の改善
- ソフマップの販促費、日本BS放送の番組制作費等が増加



前期比減益、計画比未達

特別利益・特別損失の主な内訳

特別利益 52億円

匿名組合清算配当金 約49億円(1Q計上済み)

特別損失 82億円

投資有価証券評価損 約32億円(エディオン株式他)

減損損失 約29億円(横浜西口店他)

貸倒引当金繰入額 約15億円(入居保証金:池袋東口カメラ館)

当期純利益 41億円(前期比▲40億円、計画比▲79億円)

〔連結〕品目別売上高

音響映像、家庭電化商品が好調

(単位 百万円)

	2007年8月期		2008年8月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
音 響 映 像 商 品	125,486	23.1%	143,055	23.6%	+14.0%
家 庭 電 化 商 品	71,170	13.1%	80,983	13.4%	+13.8%
情 報 通 信 機 器 商 品	223,000	41.1%	248,631	41.1%	+11.5%
そ の 他 の 商 品	120,879	22.4%	128,780	21.3%	+6.5%
そ の 他 の 事 業	1,758	0.3%	3,352	0.6%	+90.7%
合 計	542,294	100.0%	604,804	100.0%	+11.5%

〔単体〕2008年8月期 決算ハイライト

売上、営業利益、経常利益 過去最高

(単位 百万円)

	2007年8月期		2008年8月期				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画比
売上高	446,409	-	489,542	-	+9.7%	493,000	▲0.7%
売上総利益	108,452	24.3%	119,720	24.5%	+10.4%	-	-
販売費及び一般管理費	95,162	21.3%	104,248	21.3%	+9.5%	-	-
ポイント関連費用	33,270	7.5%	36,336	7.4%	+9.2%	-	-
営業利益	13,290	3.0%	15,472	3.2%	+16.4%	15,800	▲2.1%
経常利益	15,262	3.4%	16,667	3.4%	+9.2%	16,600	+0.4%
当期純利益	7,458	1.7%	2,253	0.5%	▲69.8%	11,300	▲80.0%

※売上総利益、販売費及び一般管理費の計画数値は発表しておりません。

〔単体〕2008年8月期 総括

ビックカメラ

売上高 4,895億円 (前期比+431億円、計画比▲35億円)

- 既存店の堅調 + 新店寄与で前期比+9.7%の大幅増収
⇒「都市型」モデルの優位性
- 北京オリンピック需要が期待ほどには盛り上がりず計画比で0.7%の未達



営業利益 154億円 (前期比+21億円、計画比▲4億円)

増収効果 + 粗利率改善で+16.4%

当期純利益 22億円 (前期比▲52億円、計画比▲91億円)

特別利益 匿名組合清算配当金 [合計49億円]

特別損失 投資有価証券評価損、減損損失、貸倒引当金繰入額
関係会社株式評価損 [合計104億円]

〔単体〕品目別売上高

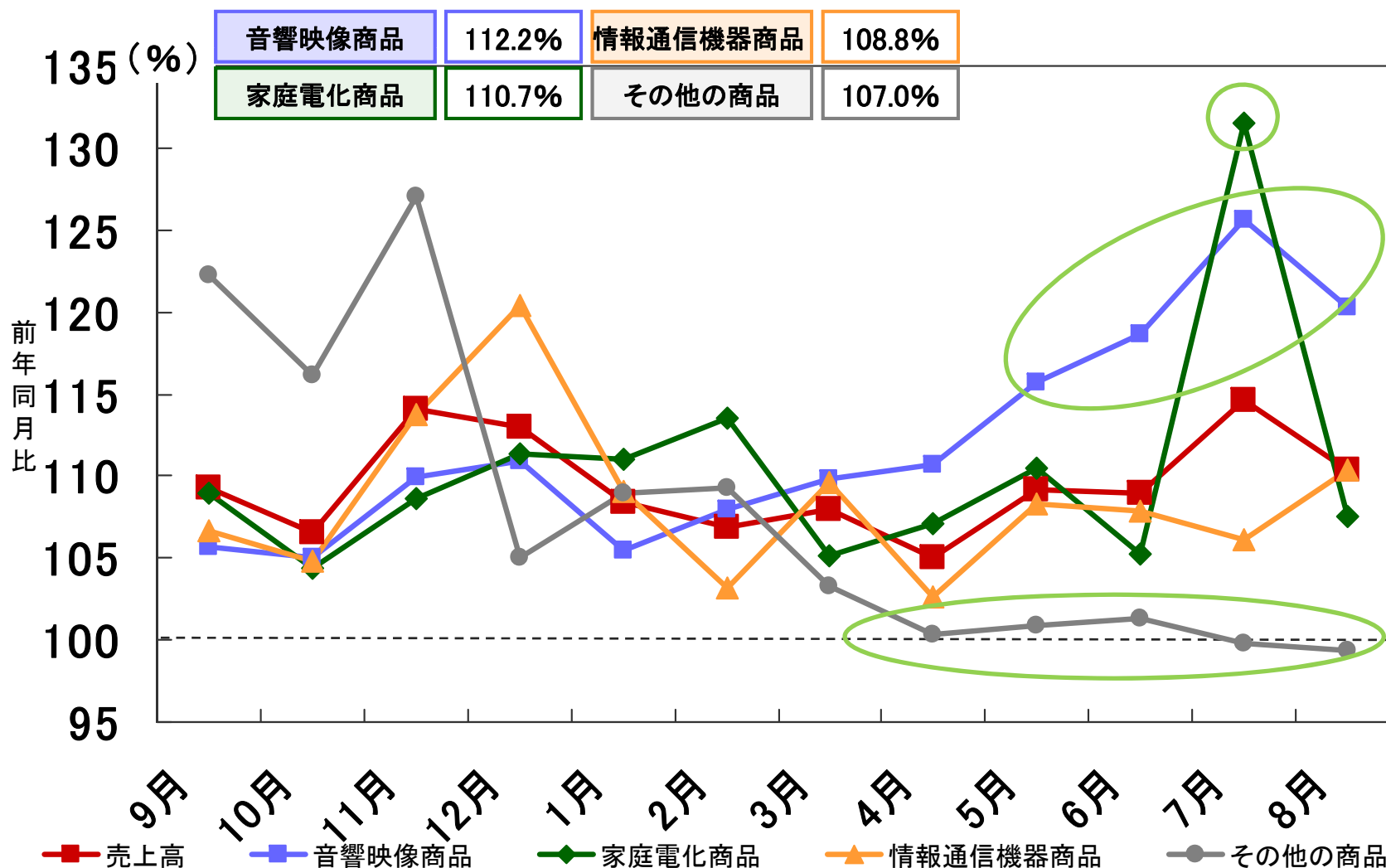
音響映像、家庭電化商品が好調

(単位 百万円)

	2007年8月期		2008年8月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
音 響 映 像 商 品	117,308	26.3%	131,584	26.9%	+12.2%
家 庭 電 化 商 品	71,173	15.9%	78,803	16.1%	+10.7%
情 報 通 信 機 器 商 品	179,507	40.2%	195,245	39.9%	+8.8%
そ の 他 の 商 品	78,420	17.6%	83,910	17.1%	+7.0%
合 計	446,409	100.0%	489,542	100.0%	+9.7%

〔単体〕品目別の月次売上高の推移

全店売上高 109.7%(累計)で堅調に推移



※実績は会計数値であり、毎月発表しておりますPOSデータを基にした「月次売上速報」の数値とは異なります。

〔単体〕主要商品の動向（POS実績）

	主要商品	前年 同期比	主要商品の状況
音響映像	テレビ	117%	大型商品へシフトに加え、オリンピック需要を取り込む
	DVDレコーダー	126%	ブルーレイレコーダーで大きく伸長
	ポータブルオーディオ	107%	単価は下落傾向ながら、順調に台数が伸びる
家庭電化	エアコン	123%	省エネ、自動掃除機能が付く高性能商品へのシフトによる単価上昇に加えて、7月の猛暑効果で伸長
	冷蔵庫	113%	省エネの400リットル超の大容量タイプが牽引、特に500リットルクラスが伸長
	洗濯機	106%	乾燥機一体型の比率が高まるものの、単価が下落
情報通信機器	パソコン本体	105%	ノートタイプが順調に推移、特にウルトラモバイルノートを中心とした小型モデルの需要が伸びる
	デジタルカメラ	112%	単価は下落傾向も台数増により前年をカバー、特に一眼レフタイプは大きく伸長
その他	ゲーム	110%	アクセサリは順調に推移したが、ゲーム機本体の新発売がなく、ゲームソフトも大作ソフトがなかったことから下期は前年を下回る

〔単体〕新店舗の状況

2008年8月期に寄与した店舗

JR京都駅前店

- ・2007年8月23日開店
- ・店内改札で駅に直結
- ・面積 約8,000㎡



岡山駅前店

- ・2007年11月20日開店
- ・JR岡山駅と地下道で直結
- ・面積 約10,000㎡



ベスト広島店

- ・2008年3月6日開店
- ・ベスト電器広島本店に出店
- ・面積 約10,000㎡
(中四国地方最大規模)

新横浜店

- ・2008年3月26日開店
- ・JR新横浜駅ビルに移転増床
- ・面積 約7,000㎡

ベスト電器への追加出資

持株比率

9.33%

(07年10月)

追加出資

14.86%

(08年8月)

追加出資

15.03%

(08年10月)

提携成果

- 1.人材の相互交流・店舗運営ノウハウ の共有
ベスト広島店
- 2.オリジナル商品の共同開発
PC、デジタルカメラ、テレビ等(140品目以上)
- 3.物流ネットワーク・サービスの相互利用
配送・設置業務のベストサービスへの委託(岡山・広島・福岡・札幌)
- 4.修理センター・機能の相互利用
修理業務をベストサービスへ委託



追加提携内容

- 1.人材の相互交流
幹部社員の相互派遣
- 2.共同運営店舗の拡大
ベスト電器店舗の共同運営の検討
- 3.ポイントカードシステムの共有化
当社のポイントカードシステムのベスト電器への導入検討

持分法適用関連会社化

- ・15%の株式取得
- ・両社代表取締役会長が相互に顧問就任

ビックカメラ

2. 2009年8月期 業績見通し

〔連結〕 2009年8月期 業績見通し



売上、各利益共 過去最高

(単位 百万円)

	2008年8月期		2009年8月期(計画)			
	実績	売上比	計画	売上比	増加額	前期比
売上高	604,804		628,000		+23,196	+3.8%
営業利益	15,496	2.6%	17,700	2.8%	+2,204	+14.2%
経常利益	16,164	2.7%	17,900	2.9%	+1,736	+10.7%
当期純利益	4,112	0.7%	9,300	1.5%	+5,188	+126.2%

ビックカメラの増収増益に加え
子会社の業績改善により2桁増益を見込む

売上高 6,280億円(前期比+231億円、+3.8%)

景気下振れリスクはあるものの、ビックカメラの「都市型モデル」の優位性と昨年度および今後の新店の増収効果を見込む

営業利益 177億円(前期比+22億円、+14.2%)

ソフマップ・日本BS放送の業績改善もあり前期比2桁増を見込む

当期純利益 93億円(前期比+51億円、+126.2%)

〔連結〕2009年8月期 半期ごとの業績見通し



上期売上高3,120億円、営業利益85億円
 下期売上高3,160億円、営業利益92億円

(単位 百万円)

	上 期			下 期		
	見通し	売上比	前期比	見通し	売上比	前期比
売 上 高	312,000		+4.6%	316,000		+3.1%
通期に対する割合	49.7%			50.3%		
営 業 利 益	8,500	2.7%	+2.8%	9,200	2.9%	+27.2%
通期に対する割合	48.0%			52.0%		
中 間 純 利 益	4,400	1.4%	▲38.4%	4,900	1.6%	-

08/8期(実績)

売上高

秋葉原本館・当社店舗への
「インショップ」展開等により増加

営業利益・経常利益

秋葉原本館をはじめ新店開店の販
促費、地代家賃、人件費等の増加に
より、前々期比減益



09/8期(計画)

売上高

景気後退による消費不振を想定
前期をやや下回る

営業利益・経常利益

管理部門の最適化、大型新店の計
画がないことなど諸経費の圧縮に
より、前期比改善を見込む

08/8期(実績)

売上高

- ・昨年12月にBSデジタル放送「BS11」をスタート
- ・広告収入の伸びが計画を下回る

営業利益・経常利益

- ・開局記念番組の制作費用等が計画を超過
- ・その他番組制作・調達費用も計画比を上回り大幅赤字



09/8期(計画)

売上高

- ・前期の広告収入は「BS11」が12月放送スタートで実質9カ月分。
- ・今期は通期12ヶ月分の収入を想定、新規広告収入も徐々に伸びているため大幅な増収を見込む

営業利益・経常利益

- ・前期発生の開局コスト(約3億円)が解消
- ・番組制作・調達費用の見直しで売上原価を抑制、前期比大幅改善を見込む

〔単体〕2009年8月期 業績見通し



売上・各利益共 過去最高

(単位 百万円)

	2008年8月期		2009年8月期			
	実績	売上比	計画	売上比	増加額	前期比
売上高	489,542		511,000		+21,458	+4.4%
営業利益	15,472	3.2%	15,900	3.1%	+428	+2.8%
経常利益	16,667	3.4%	16,700	3.3%	+33	+0.2%
当期純利益	2,253	0.5%	8,700	1.7%	+6,447	+286.2%

今期の新店

浜松店(仮称)



2008年11月下旬
JR浜松駅にオープン
面積 約4,500㎡(予定)

新潟駅ビル店(仮称)



2009年2月
JR新潟駅ビルにオープン
面積 約10,600㎡(予定)

来期

鹿児島中央駅店(仮称)

2010年春 JR鹿児島中央駅にオープン
面積 約5,500㎡(予定)

配当金は2009年8月期も一株当たり年1,000円を予定

	06/8期	07/8期	08/8期予定	09/8期計画
通期	500円※	750円※	1,000円	1,000円

※2007年9月1日に株式分割(1:2)を実施しており、修正後の株価を記載しております。



株主優待制度

保有株式数に応じた株主優待制度

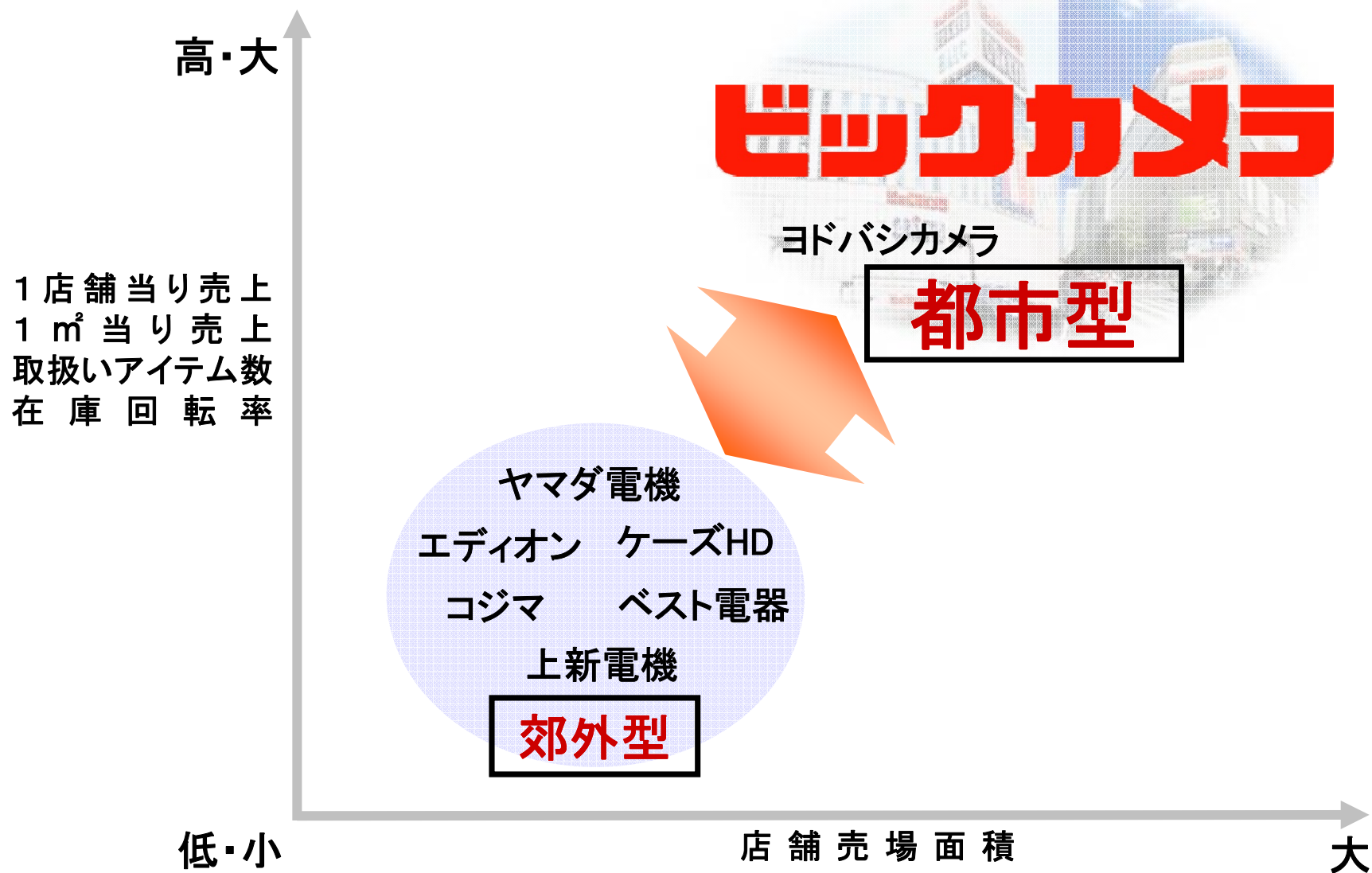
長期株主を優遇する株主優待制度

ビックカメラ

3.「都市型モデル」の新たな成長

唯一の上場「都市型モデル」

ビックカメラ



「都市型モデル」の優位性 ①

加速する「大都市への人口流入」と、増加する「世帯数」

大都市への人口流入

世帯数の増加
・耐久消費財の需要発生

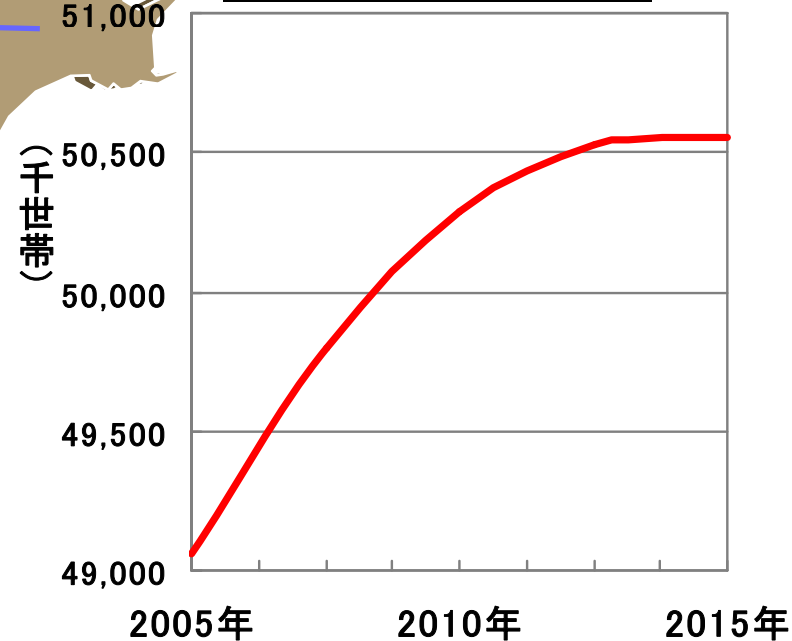
都市部の人口増＝世帯数増 ⇒ 都市マーケットの拡大

大都市計 (2006・2007年)
約+265,000人

東京特別区
(2006・2007年)
約+154,000人



世帯数の推移予測

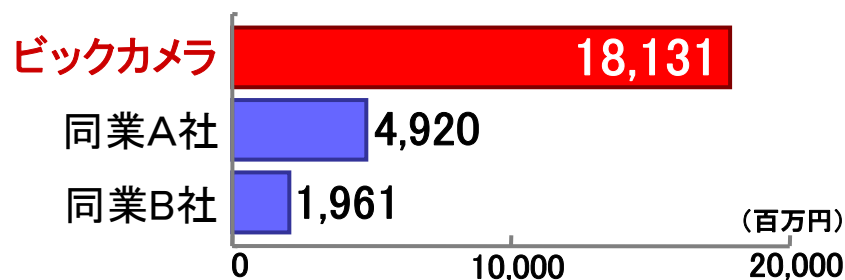


出所:「住民基本台帳人口移動報告」、
国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」より

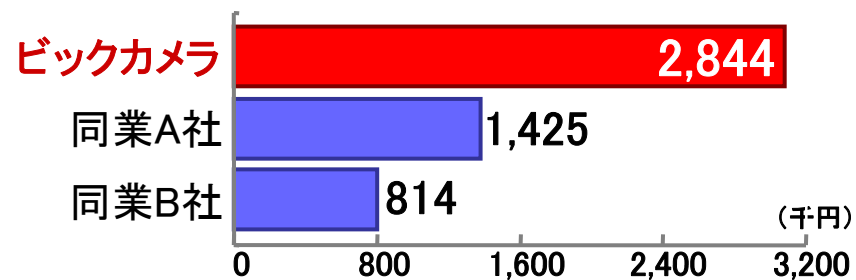
「都市型モデル」の優位性 ②

非常に効率の良い「都市型」店舗

直営店1店舗当り売上高



面積1㎡当り売上高

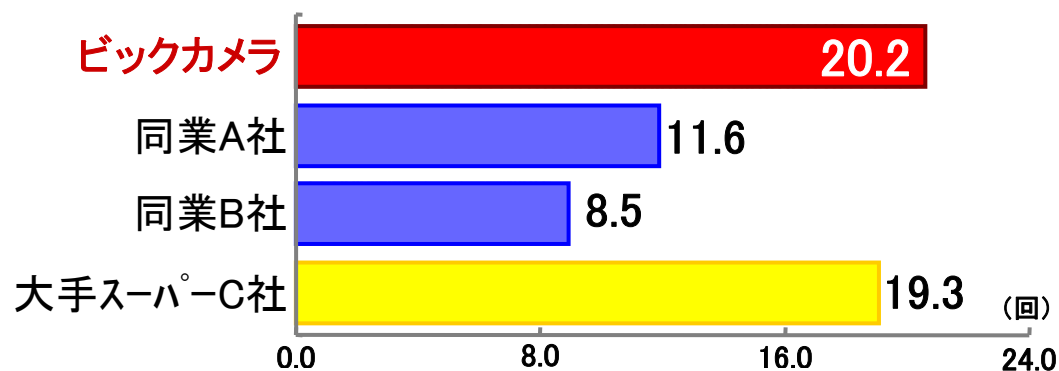


「商品の鮮度」＝ 棚卸資産回転率

年間の棚卸資産回転率

20.2回※


※<売上÷((期首棚卸資産+期末棚卸資産)×1/2)>



出所: 各社開示資料より当社算出 注: 当社は'08/8単体、同業A社は'08/3単体、同業B社は'08/3連結、大手スーパーC社は'08/2単体

「都市型モデル」の優位性 ③

当社独自の「都市型」顧客囲い込みツール ビックカメラSuicaカード + ビックポイントカード

 **Suicaカード**
交通系電子マネーの共通化
(駅前出店戦略に合致)

等価交換

ポイントカード
高率ポイントで囲い込み



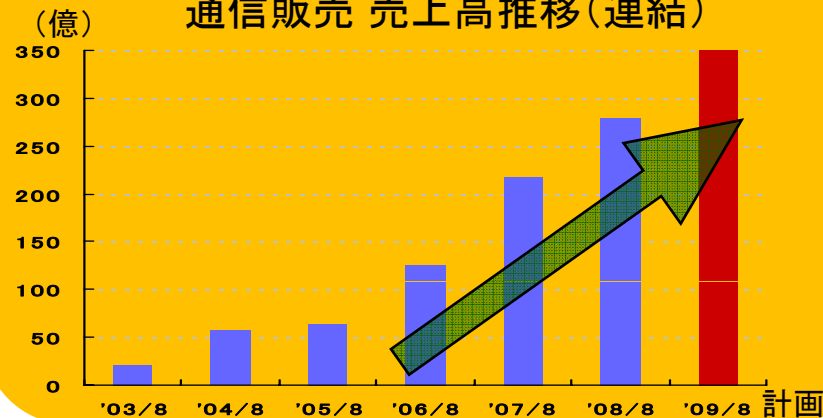
新たな成長分野 ネットショッピング



- 高速大容量サーバーの導入
(現在の3倍の売上に対応)
- キーワード・絞り込み検索の導入
- ページデザインの変更
- 協調フィルタリングの導入
- FAQ機能の強化



今期は300億円を突破
通信販売 売上高推移(連結)



今期予定している取組み

- 携帯サイトへの対応強化
- 決済手段の増加
- 物流機能連動による効率化
- 更なる検索性能の向上

ビッコカメラ

4. 参考資料

人材の確保と育成

「活気ある企業No.1」+「就職希望No.1」
⇒有能な人材の確保と育成

2007年日経企業イメージ調査より

活気がある企業

7年連続

第1位 (1,178社中)

リクルート就職ブランド調査2008より

就職希望ランク (家電量販業界)

第1位

教育
・
研修制度



専門知識の
豊富な販売員

社内資格

専門相談員

全販売員の約3割

環境先進企業 第1号(環境省)

業界のトップランナーとして

1業種1社のみとする環境省の「エコ・ファースト制度」の第1号認定企業として、社会的責任を踏まえ、環境配慮を通じ積極的に社会貢献します。



業界では当社のみにも与えられた
エコ・ファースト・マーク

「エコ展示」の開始

CO2削減への新たな取り組みとして、展示テレビ電源を常時オフ(約30%)する「エコ展示」を開始



その他の取組

ロッテマリーンズと共同の省エネ啓蒙活動の実施(写真上)



都庁で店舗において取り組んでいる資源再利用のための携帯電話回収についての展示を実施(写真下)



本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2008年10月21日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2008年10月21日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2008年10月 株式会社ビックカメラ